

① 伊賀市の特徴とSDGsの取り組み

私の住む三重県伊賀市は忍者の街として知られ、自然豊かな環境や組曲などの伝統的な文化も多く残る歴史ある街です。また、全国でいち早くパートナーシップ制度を導入するなど、誰もが自分らしく暮らせるような「多様性を尊重するまちづくり」を目指してとても良い街でもあります。伊賀市はSDGsの目標である「ジェンダー平等を実現しよう」、「パートナーシップで目標を達成しよう」については達成していると私は考えます。

5 伊賀市が積極的に取り組んでいるSDGsの目標  
17 伊賀市が積極的に取り組んでいるSDGsの目標  
引用：国際連合広報センター公式HPより



図1 伊賀市が積極的に取り組んでいる目標と現在街並み

② 伊賀市が抱える社会問題

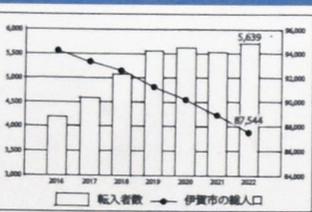


図2 伊賀市の人口推移

一方で、伊賀市が抱える社会問題として少子高齢化により空き家が増え、管理が難しくなっています。伊賀市の人口推移をみると、住居者全体では年々減少している傾向にありますが、一方で工場など働く場所が多い伊賀市では海外からの転入者が年々増加している傾向にあることがわかりました。このことから、伊賀市の未来として3つのことが考えられます。1つ目は、このまま何もしなければ人口減少によって伊賀市の文化が衰退してしまうかもしれないということ。2つ目は、伊賀市の文化を今後増えつつ転入者の方に広め伊賀の文化を維持していくこと。3つ目は、伊賀市の文化と転入者の文化を組み合わせることで新しい文化を作ることです。私は3つ目の新しい文化を作っていくことに未来を感じ提案したいと考えました。

③ 私の考える伊賀市の未来

私はまず、転入者の方々に知ってもらうために、通訳などの支援をしているNPO法人伊賀の伝丸のスタッフの方に8月5日にインタビューを行いました。そこで、転入者の方と交流する機会を設けてはいますが、なかなか上手く交流ができておらず、結局は転入者のコミュニティで過ごしてしまうということを教えていただきました。このままでは、伊賀市の居住者と転入者が交流することが無くなってしまいうため、これらの問題を少しでも解決できる地区センターを提案したいと考えました。

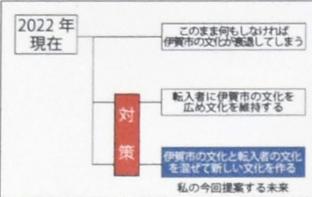


図3 私が考える伊賀市の未来

④ 古い町屋を改修する地区センター

現在伊賀市には、7,470戸もの空き家があります。年々増えていく空き家は、管理について問題になっています。私は、空き家を改修して、伊賀市民と転入者が交流する地区センターを作ること考えました。空き家は陰湿な雰囲気があるため、柱などの構造体を中心に改修することで開放的に、陰湿な雰囲気を無くしています。

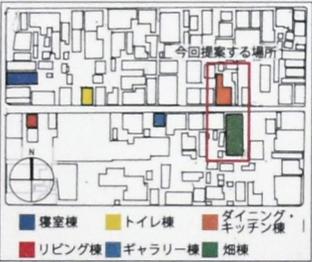
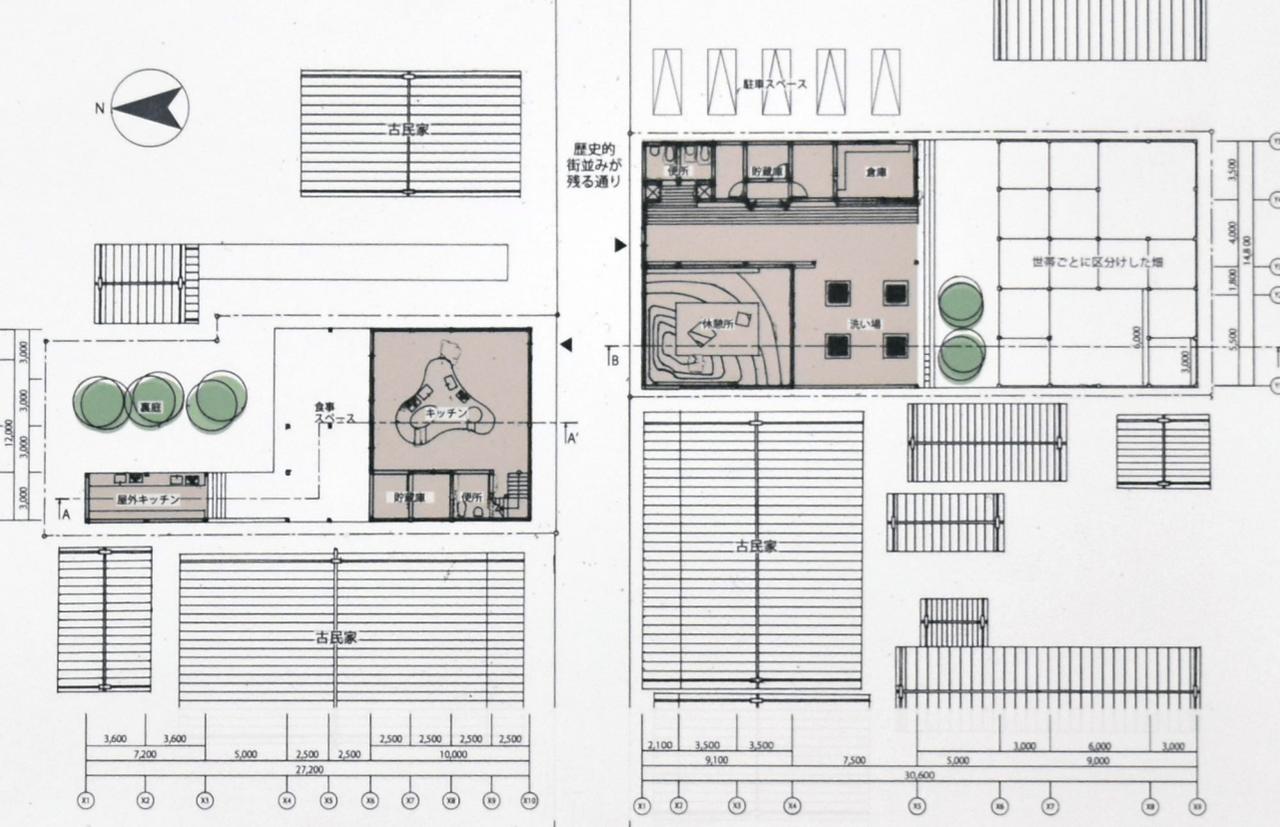


図4 提案場所

点在した空き家には、普段私たちが生活をしている中で使用するリビングやダイニングキッチンなどに近い機能を1つずつ取り入れ気軽に使用できる交流場所とします。取り入れる機能は全部で6種類あり、リビング棟・ダイニングキッチン棟・寝室棟・煙棟・ギャラリー棟・トイレ棟でこのうち今回は煙棟とダイニングキッチン棟を提案します。煙で収穫した作物を、煙棟の前のダイニングキッチン棟と一緒に料理をすることで交流の場となるようにします。

歩みからひとつになる街づくり  
～SDGsから考える伊賀市の新しい文化のあり方～



配置図兼一階平面図 S=1:200

⑤ 具体的な交流方法について



図5 交流の仕方の提案  
多文化交流をするにあたって、大人同士ではどうしても壁を作ってしまうなかなか交流できません。しかし、私の通う学校では外国籍の友人と壁を作らず交流することができます。壁を作らない子ども同士が、協同で作業・体験する場を作れば、それをきっかけに大人同士でも自然と交流できるのではないかと考えました。



図6 煙棟を上から見た写真

⑥ ピクトグラムで言語を使わず伝える



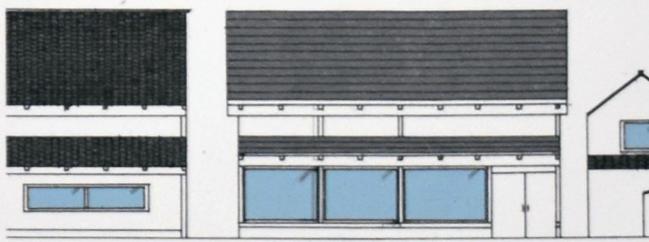
街に点在しているメリットとして、家に引きこもってしまうという高齢者が外に出るきっかけになるとともに、初めて伊賀市に来た転入者の方が街を歩くことで伊賀市がどのような街なのかを知ってもらうきっかけになります。デメリットとしてどこに何があるかわからないため、ピクトグラムを使用することや道路に色別の線を引くことには何かをわたりやすくしています。

⑦ SDGsの視点から新しい伊賀市を目指す

SDGsでは「人や国の不平等をなくそう」や「住み続けられるまちづくりを」、「平和と公正をすべての人に」などの取り組み目標が上げられています。今回の提案は、これらの目標を参考に自分なりに考えて提案しました。また、この地区センターで新しい文化を作る場所とするのではなく、新しい文化を作ることになる場所であれば良いと考えています。SDGsの取り組みに沿って、伊賀市に住んで心地良く感じられるようになると嬉しいです。

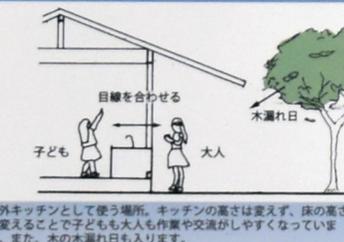


図8 今回の提案で実現する伊賀市のSDGsの目標



ダイニングキッチン棟 南立面図 S=1:200

古民家の改修は、柱などの構造体だけを残すため強度が弱いと思われるかもしれませんが、古民家に使われる屋根瓦をスレート屋根にするため屋根がなくなり地震力を軽減しています。現在の技術である、金属の金具を使用することで強度を高めています。また、隣接する既存町屋の壁には開口部がないため、ガラス張りにしてもプライバシーが守られます。



屋外キッチンとして使う場所。キッチンの高さは変えず、床の高さを変えることで子どもも大人も作業や交流がしやすくなっています。また、木の木漏れ日も入ります。



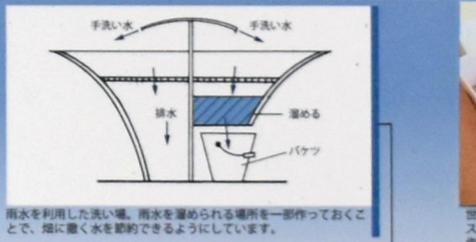
キッチンを曲線にすることで、作業スペースを広く取れるようになっています。また、キッチンの内側では少し高いた床を設けることで、子どもが作業しやすくなっています。



空き家は管理が難しいので一部を解体し管理しやすくしますが、前面を解体してしまうと面抜けになってしまう景観が悪くなるので、一部を残しつつ改修します。



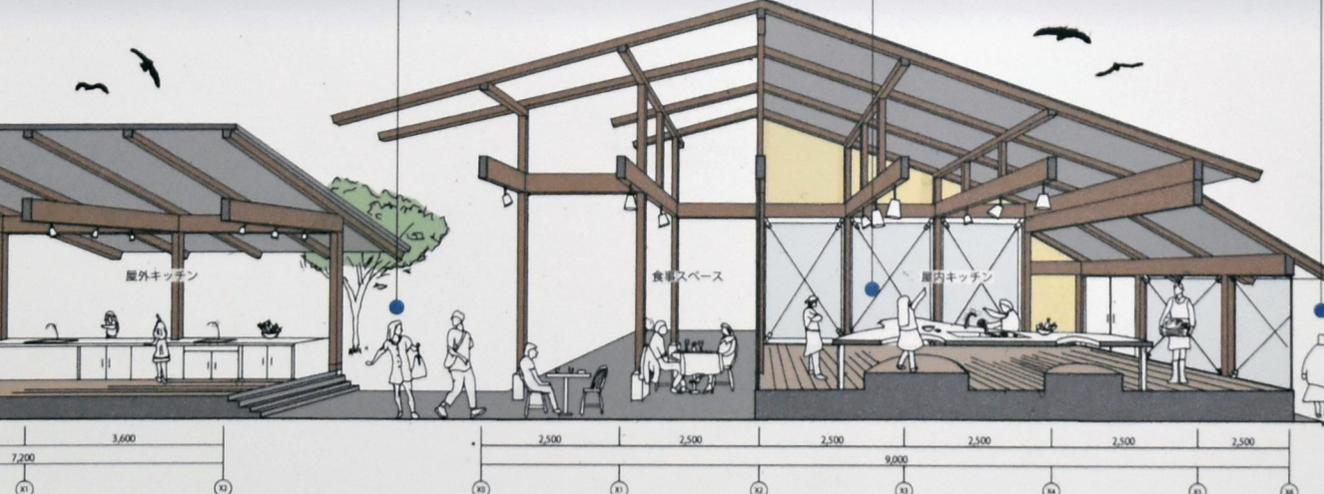
煙がある建物の環境学習スペース。壁には作物などの収穫時刻が書かれています。また、育てている間に作物などの本で勉強することや体験するなど多目的に使用することができます。



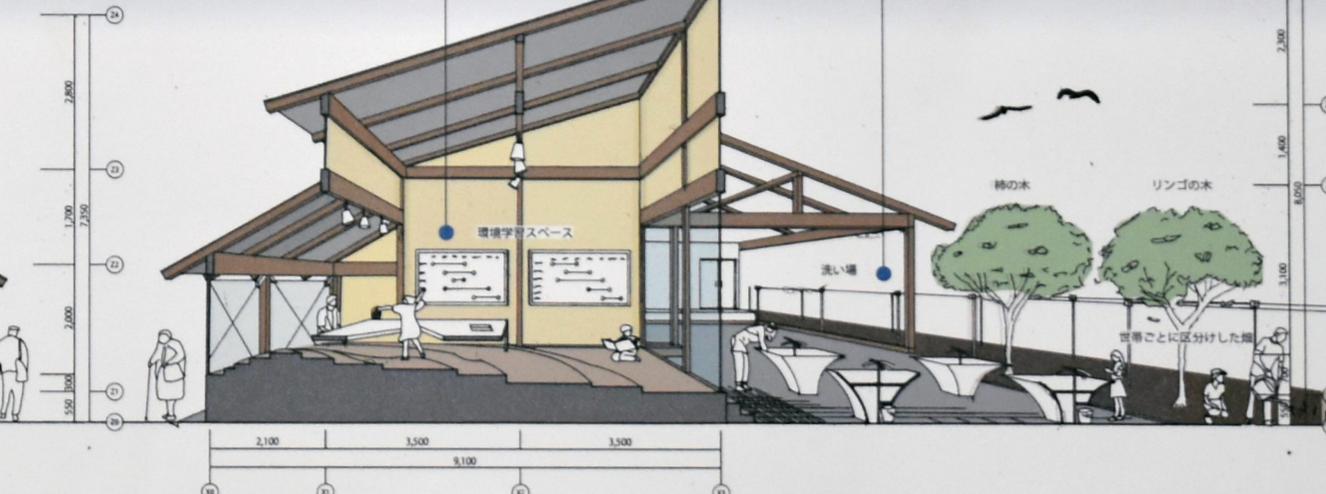
雨水を利用した洗い場。雨水を溜められる場所を一部作っておくことで、煙に置く水を節約できるようにしています。



世帯ごとに区分けした煙。それぞれの家風は区分けされたスペースで作物を育て作物の育て方などを教え合います。また、収穫した作物をダイニングキッチンで料理する中で交流をします。



A-A' ダイニングキッチン棟断面図 S=1:60



B-B' 煙棟断面図 S=1:60

# ノーマル ライフ abnormal Life

～未来へのダイバーシティ～

## 《Introduction》

近年、様々な取り組みやメディアにおいて「SDGs」という言葉をよく耳にする。研究を始めた当初、私たちがこのSDGsに抱く主なイメージは、環境問題に対する施策であると思っていた。詳しく調べていくと、それ以外にも多くの目標があり、私たちが学ぶ建築に深く関係しているものであることが分かった。建築は「ものづくり産業」の他、人々の暮らしを支え、身体・精神的にも幸せを感じ得る空間をつくり出す「総合的な生活産業」としても位置づけられる。SDGsが目指す持続可能な社会を構築していくためには「豊かなまちづくり」が必要不可欠であり、そのゴールや、さらにその先の未来を思い描いていくことは、建築を学ぶ私たちにとっての責務であると言えるだろう。

昨年の新語・流行語大賞に「ジェンダー平等」がノミネートされたことは記憶に新しい。女性蔑視発言やLGBT法案の見送りが影響してか「ジェンダー」という言葉が多くメディアに取り上げられたことによるためであろう。女性が社会進出しにくい環境であるということに不満を持っている人も少なくないと思う。それ以外にも性的マイノリティに悩みを抱えている人もいるはずだ。そこで、私たちはSDGs第5のゴールであるジェンダー平等についての研究をすることにした。

昨今、世界に目を向けると様々な性的差別が問題視されている。これからの未来を生きていく私たちにとって、深く関わりを持つ問題のため、早急に解決に導かなければならない課題である。表1から読み取れるように、2022年現在、日本は他の先進国に比べてジェンダーギャップ指数<sup>※1</sup>に遅れをとっていることが分かる。日本のジェンダーギャップ指数が低い大きな要因である、女性が「ライフワークバランス」を実現できていないということは、以前から問題視されていることだ。ジェンダーギャップ指数を上げるには、女性の社会活動を活発化させ、企業や地域・国内での協力体制や共通認識が必要不可欠である。男性・女性、性的マイノリティの方々に対しての差別を無くしていくことで、私たちが理想とする社会になっていくのではないだろうか。そこで、私たちはあらゆるジェンダーの心情をより深く理解するために、次のような活動を通して研究を進めていくことにした。

## 《Methods》

- 街頭アンケート調査
- ジェンダーによる思考とLGBTQ+
- 理解ある社会へ向けての取り組み
- ジェンダー差別に関するインタビュー

順位	国	指数
1	アイスランド	0.908
2	フィンランド	0.860
3	ノルウェー	0.845
4	ニュージーランド	0.841
5	スウェーデン	0.822
19	フィリピン	0.783
27	アメリカ	0.769
49	シンガポール	0.734
79	タイ	0.709
116	日本	0.650

表1 (ジェンダーギャップ指数 2022 国別順位)

※1 ジェンダーギャップ指数

国ごとの男女格差の度合いを示す指標。

# 《Chapter 1》 街頭アンケート調査

私たちは生活する上で、男性・女性というジェンダーを意識して行動することが多々ある。男性・女性それぞれが感じている差別や、性的マイノリティの方々が抱える悩みが解決できていない現在の状況は、私たちが生活しやすい環境とは決して言えない。現在の日本にある様々な問題を確実に改善していき、2030年のゴールを実現するため、より良い社会を建築的目線から導いていかなければならない。

現代の人々がジェンダー平等についてどのように考えているのかが気になった私たちは、街頭において不特定多数の方々にアンケート調査を実施することにした。調査に協力してくれた方々は、延べ263人である。

質問1 「性的マイノリティやジェンダーという言葉聞いたことがあるか」

⇒ ある 92.02% (242人)

性的マイノリティやジェンダーなどの言葉は多くの人々に認知されている。

質問2 「自身や身の回りで性的差別や男女格差などを感じたことや聞いたことがあるか」

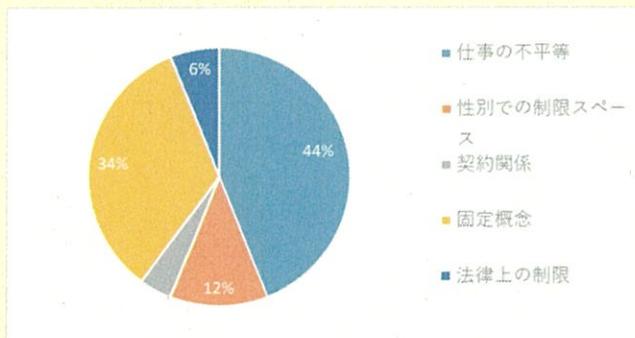
⇒ ある 30.80% (81人)

制服の指定や人付き合い問題、決めつけなどの固定概念を感じている人が多い。

男性・女性の比率はほぼ同数である。

質問3 「生活していてジェンダーにおける不便を感じたことはあるか」

⇒ ある 19.00% (50人)



グラフ1 (ジェンダーにおいて不便を感じる項目)

男性 15.49% (22人)

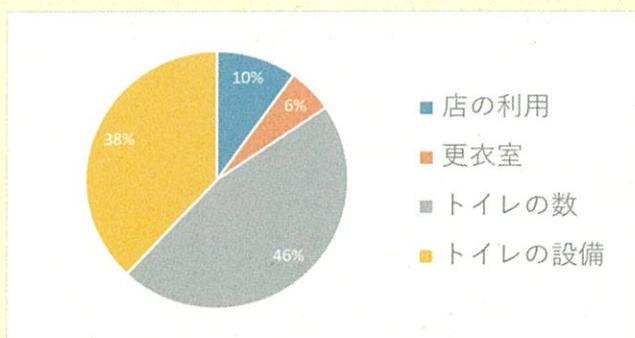
女性 23.14% (28人)

女性の方が格差を感じて生活している。

グラフ1から「仕事の不平等」「固定概念」といった人々の意識的思考によるものが約80%を占めていることが読み取れる。

質問4 「建築的なことで不便だと感じることはあるか」

⇒ ある 27.00% (71人)



グラフ2 (建築的に不便を感じる項目)

男性 24.65% (35人)

女性 29.75% (36人)

質問3に比べて、男性・女性ともに感じていると答えた割合は増えているが、こちらも女性の方が感じている割合が多い。

グラフ2からトイレに関する問題が約80%を占めていることが読み取れる。利用頻度が高く、問題提起しやすい課題であると考えられる。

## 《Chapter 2》 ジェンダーによる思考と LGBTQ+

アンケートの集計結果から、現在の日本では多くの人々にジェンダーや性的マイノリティに対する配慮についての問題点が認識されていることが分かる。男性からも、女性に対する配慮が満足には行われていないという意見があった。このことから、日本の課題は、問題視されているのにも関わらず、それに対する対策を打ち出せていないというところにあるのではないだろうか。私たちがこの課題を解決するためには、これからどのような行動を起こせば良いのだろうか。また、アンケート調査では識別することができなかった、性的マイノリティの方々の考えも加味して豊かな社会の実現に向かっていくべきである。

### ・ LGBTQ+

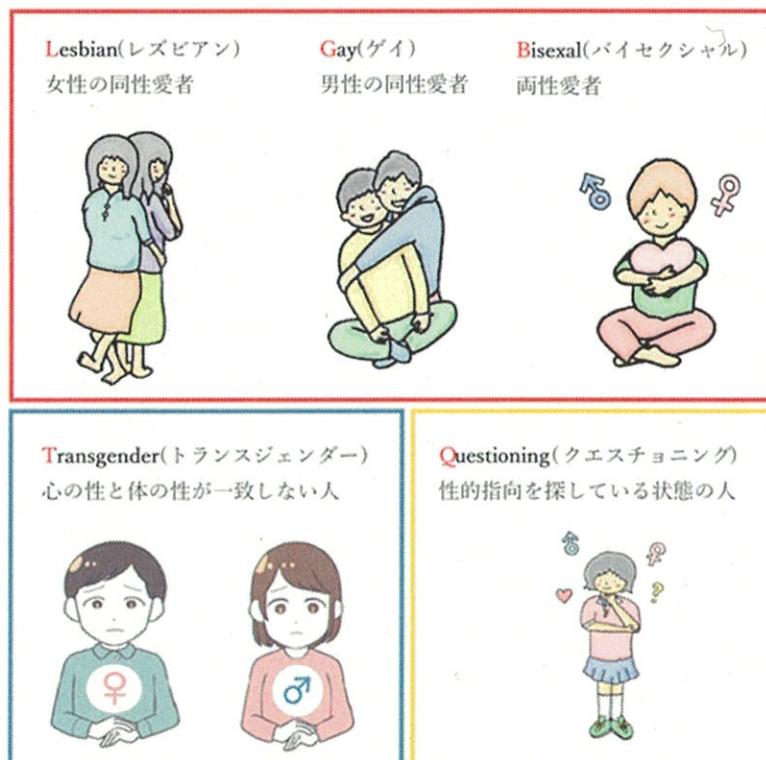


図1 (LGBTQ とは)

LGBTQ は、性的マイノリティを示す言葉である。女性の同性愛者を表すレズビアン。男性の同性愛者を表すゲイ。両性愛者を表すバイセクシャル。身体的性とは異なる性自認者を表すトランスジェンダー。性的指向や性自認が曖昧な人を表すクエスチョニング。LGBTQ は、これらの頭文字で構成されている。

その他に、身体的性において男性・女性の間、または、どちらも一致していない人を表すインターセックス。無性愛者を表すアセクシュアル。これらを加えたものを LGBTQ+ と言われる。また、昨今では、さらに様々な性を表す言葉が増え続けており、現在では、LGBTTTTQQIAAP+ の総称が LGBTQ+ とされている。

### ・ LGBTQ+ に対する理解

日本におけるジェンダー平等に向けての課題は、性的マイノリティへの理解度がジェンダー平等先進国と比べ低いことが影響していることも否めない。海外では、ハグやキスなどによるスキンシップでコミュニケーションがとられている国も珍しくない。一方、日本では海外の文化と違い、相手とのコミュニケーションにおいて、一定の距離を保っている傾向がある。これらのことから、自意識表現のための行為も性的マイノリティへの理解に影響しているのではないだろうか。

## 《Chapter 3》理解ある社会へ向けての取り組み

私たちが暮らす日本は民主主義国家であり、民衆が抱える悩みや問題点を1つ1つ議論し解決に導き続けている。そのため、人々が生活しやすい環境を模索し、改善し続けているのかもしれない。しかし、ジェンダー平等における考え方や取り組みを世界と比べると、日本はどうしてもジェンダー平等先進国に差を感じる部分がある。前述にもある通り、性的マイノリティに対する理解の経緯を、日本と世界とでまとめてみる。

### ・世界と日本 ～文化～

表1にもあげられるように、現在、ジェンダー平等に最も近い国はアイスランドである。その次にフィンランド、ノルウェーと続くが、北欧の国が上位を占めている。日本よりもジェンダー平等に近い近隣諸国ではフィリピン、シンガポール、タイなどがあげられる。では、これらの国々と日本との、コミュニケーションにおける文化の違いを比較してみたいと思う。

Other Countries	Japan
<ul style="list-style-type: none"><li>○自分の意志や思ったことをはっきりと口に出して相手に伝える。</li><li>○誰にでも積極的にハグやキスといったスキンシップで挨拶が交わされる。</li><li>○見ず知らずの人と雑談をしている風景がよく見られる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○相手に全てを伝えなくても、相手が意図を汲み取って空気を読むだろうと考える。</li><li>○古くからの考えや伝統を大事にし、礼儀を深く重んじる。</li><li>○相手に用があるとき以外、他人に声をかけるようなスモールトークは行われない。</li></ul>

日常生活でも仕事の場でも、様々な場面で文化や習慣の違いが見られる。どちらが良いというものではなく、これらの違いが性的マイノリティに対する理解が身近なものか否かに影響しているのだろう。日本の若年者層には、他国の文化も取り入れられており、ジェンダーに対して理解のある人たちが増えてきている。しかし、新しい情報に触れることの少ない高齢者層からの理解を得るためには、少し時間がかかるのかもしれない。

### ・世界と日本 ～取り組み～

世界のジェンダー平等先進国では、様々な取り組みが行われている。そのトップであるアイスランドでは、1990年代から同性のパートナーシップ、同性カップルの養子縁組、体外受精の権利などが認められている。2010年には同性パートナーシップから同性婚の認可へと格上げされ、現在議論されている様々な性的マイノリティへの権利を認めるに至っている。また、2009年にはゲイの首相が選出されたりもしている。この他にも、ジェンダーフリートイレの設置や同性婚が認められていること、性的マイノリティへ差別をしてはいけないなどといった法律も制定されている。性的マイノリティに限らず、男性・女性に配慮した育児休暇や賃金格差を違法とする法律の制定など、現在でも様々な取り組みが続けられている。

日本でも徐々にではあるが、新しい考え方にアップデートしていこうという取り組みがなされている。東京でのジェンダーレストイレの設置を例にあげてみる。これは、建築家の隈研吾氏が渋谷の鍋島松濤公園に造ったものである。デザインはもちろんだが、SDGsや環境に配慮し、まわりの目を気にせず誰もが使用しやすい構造、表現を兼ね揃えたトイレになっている。これを皮切りに、現在の渋谷区内には「THE TOKYO TOILET」というプロジェクトの元、様々なデザイナーや建築家が携わった17か所のトイレが設置されている。

## 《Chapter 4》 ジェンダー差別に関するインタビュー

現在の日本のジェンダー平等に向けた問題はどのようなものだろうか。実際の職場環境で行われている男女差別を無くすような取り組み。性的マイノリティの方々が抱えている不満。これらにスポットをあてて調査したいと思う。

インターネットでの調べによると同性同士での賃貸契約には難があるらしい。では、性的マイノリティの方々はどのようにして家を借りているのだろうか。女装をしている男性が利用するトイレはどちらを選択するのか。

今回は、不動産会社の方と性的マイノリティの方にインタビューをして、私たちの疑問を生の声で解答していただいた。

### 不動産会社へのインタビュー

御社に勤務する女性と男性の割合を教えてください。

不動産業は事務仕事が多いということもあり、1：2で女性の割合が高いです。

事務仕事の他に女性が営業をすることは可能ですか？

大歓迎です。営業や接客対応は男性・女性関係なくできます。女性のお客様が物件を探す際、その方に住む場所が知られてしまうということや、ストーカー被害を心配するため、男性職員では対応できないことが度々あります。また、経験を積んだ後に独立して個人起業する女性も増えてきています。

男性が育休休暇を取得することはできますか？

過去に要望を受けたことはありませんが、取得することは可能です。

同性での同居を希望される方にはどのような対応をしていますか？

店頭で性的マイノリティを公言する方は過去にいませんでした。友達としてルームシェアをしたいという方は多数いました。



写真1 (不動産会社へのインタビューの様子)

御社では、同性での同居を受け入れていますか？

日本ではまだ、性的マイノリティへの理解が進んでおらず、入居を拒むオーナーさんや大家さんがいます。そのため、すべての物件へ入居できるとは言えません。しかし、弊社では本年、性的マイノリティへの理解を深めるための研修を行い、より多くの方に満足していただけるように、サービスを見直しているところです。

その後、同性での同居の件数は増えましたか？

同性での同居の件数は増えました。しかし、性的マイノリティを公言する方はいません。今後も、あらゆるジェンダーの方々が安心して入居できるよう、サービスの向上に努めていきます。

## 性的マイノリティへのインタビュー

今まで差別やいじめを受けた経験はありますか？

小学生の頃、「オカマ」と呼ばれるような言葉のいじめはありましたが、肉体的ないじめはありません。大人になってからはありません。

どのようなタイミングでカミングアウトしましたか？

親は既に他界しましたが、カミングアウトはしませんでした。友達にも打ち明けてはいません。しかし、20年前よりオカマバーを経営していることから、まわりは気付いていると思います。様々な考え方の人がおり、中には深く悩んだ末に、カミングアウトする人もいます。

生活していて困ることはありますか？

自分の場合は男性の格好で生活ができるため、困ることはありません。しかし、気持ちを殺して生きている部分はあります。性的マイノリティに対して理解を示す企業はまだ少数であるため、特にトランスジェンダーの方は、格好に対して悩みを抱える部分が多いと思います。

トイレは男性用と女性用のどちらを利用していますか？

タイのように、日本にはジェンダレストイレが無いため、普段は男子トイレを使います。メイクをして着飾ったら女子トイレというように使い分けています。

不動産会社で同性での同居を断られたことはありますか？

ルームシェアという目的を伝えるため、断られたことはありません。まわりの目を気にして、関係性を公にする人はいないと思います。



写真2 (性的マイノリティの方へのインタビューの様子)

会社では女性の要望が通りやすくなってきたり、性的マイノリティの方々が借りることができる住宅が増えてきたりと、ジェンダー平等という目標に近づいてきている様子を感じることができた。そして、性的マイノリティの方々が抱く悩みについて、少しは距離を縮めることができたのではないだろうか。

今回インタビューさせていただいた性的マイノリティの方は、普段は男性としても生活ができ、生活の節々で男性と女性を使い分けている。それに慣れてしまっているとのことだったが、可能な限り、生活しやすい環境を整えてあげたいと感じた。様々な地域や企業の努力によって、ジェンダー平等という目標の達成に向けた取り組みが行われているが、実際に性差別を感じている当事者の方からの話を聞くと、課題はまだまだありそうだ。

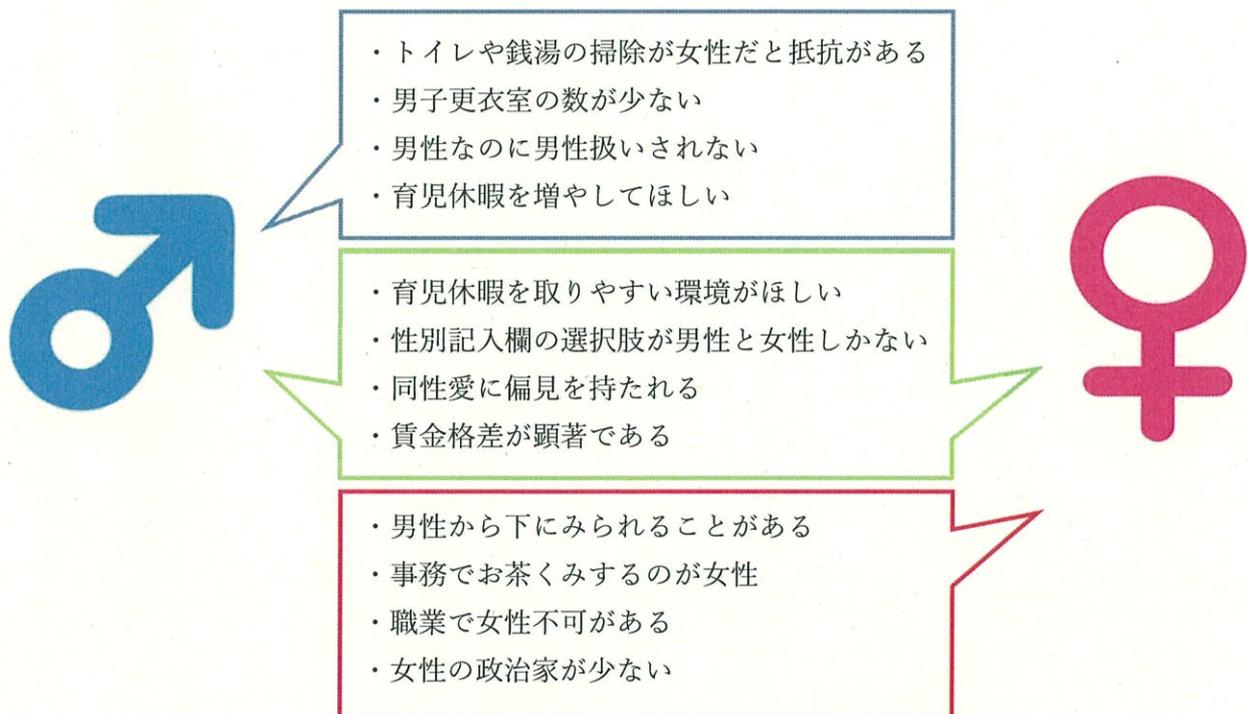
性的マイノリティの方へのインタビューの最後に、「私たち(性的マイノリティ)を可哀そうとは思わないでほしい。」という言葉があった。皆が誰かのためを考えるとということはあるが、同じ目線ではなく哀れんでしまうという感覚では、それ事態が差別という感覚になりかねない。あらゆるジェンダーの方々が、忌憚なく接することができるようになり、自然に互いを思いやることができるようになればジェンダー平等という目標は達成したと言えるだろう。

# 《Proposal》ダイバーズ素サエティ

私たちが設定した4つの Methods から、現在の日本では他のジェンダー平等先進国と比べて、考え方や取り組みに遅れが生じているということを改めて検証することができた。そこで私たちは「ダイバーズ素サエティ」という施設・組織の設立を提唱する。ここでは、様々な年齢層やジェンダー層、また、地域や職種など、環境の異なる人々がそれぞれ持つ個性的で多様 (diverse) な見方や意見をより良い社会 (society) を目指して、ありのまま (素) を物怖じせず話し合うことができる。ジェンダー問題に限らず、SDGs のゴールである 2030 年以降も、日々変化し続ける諸問題について様々な視点から多様な意見を出し、次世代へつなぎ続けることができる「SDGs の先にある私たちの社会」のための施設・組織である。

## ・ダイバーズ素サエティが必要な理由

Methods による検証結果から、日本にはスキンシップやスモールトークなどによってコミュニケーションを取る習慣が少なく、そういった場を設けることが必要であるとを感じる。性的マイノリティの方へのインタビューからは、悩みや相談、愚痴といったものを表に出す際には SNS のコミュニティを利用する以外にないとのことだった。そのコミュニティの多くは、同じ悩みを抱える人々のみのツールである。ということは、これらに対する問題や課題を不特定多数の人々と共有し、理解し合うための意見交換ができる環境には至っていないということだ。様々な考えを持つ人々が自由に意見を交換し合える場を設けることで、より良い社会を構築していくことができるのではないだろうか。日本の現状は、「ジェンダー」という言葉が身近になってはいるが、どこか他人事として捉えてしまっているのであろう。



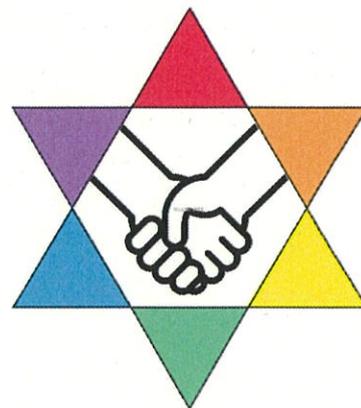
## ・ダイバーズ素サエティの役割

幅広い年齢層や様々なジェンダーの方々が意見交換を行い、その場、その時の課題を見出す。各地域に集められた1つ1つの思いを、ダイバーズ素サエティから国へ、また、国から世界へ発信していく核を担う。

偏りのない様々な人々が課題を話し合うことで、相乗効果を生み出し、「意見の多様性」を深めることができる。どんな個性を持った人でも互いを尊重しあえる空間が現在の日本には必要なのである。

私たちがこの施設を提唱することによって、2030年のジェンダー平等実現のための一歩となるはずだ。この施設を活用して日本の課題解決へ向けての取り組みを活発化していきたい。

2030年のジェンダー平等が実現した際には、世の中の在り方も変わり、世界中の人々の暮らしが豊かなものになっていくはずだ。私たちにも何かできることを見つけ、未来への足跡を残していきたい。



## 《conclusion》

調査に先立ち、私たちが本研究の展望として思い浮かべた内容は、性的マイノリティの方々が困っているのではないかと。男性に比べて女性が暮らしにくい世の中なのではないかということだった。しかし、その両者とも慣れやどうしようもないといった、言わば諦めのような感覚であることが分かった。

2015年にSDGsの各目標が定められてから約半分が経った現在の状況は、メディアにおいて活躍する性的マイノリティの著名人の影響もあり、以前に比べ、自らのジェンダーを公表しやすい環境になり始めた程度である。私たちは、現状を「変えたい」と思っているにもかかわらず行動に移すことができないのだろうか。それは、日本の文化として、マジョリティから外れたものに違和感を抱くという傾向によるものである。マジョリティに流されることなく、個性や意見を互いに尊重し合ってからこそ、日本国憲法の三原則の1つである基本的人権が尊重されるのではないだろうか。

人々の心が変わっていくことで、それがいずれ国としての動きへと変わり、国が積極的に動くことでそれが社会、そして街づくりへとつながっていくだろう。

未来の私たちが、現在の当たり前をおかしかった、

abnormal だったと言えるように。

すべての人が何の偏見も持たれず、普通に、

normal に暮らせるように。

## 《Reference》

ELEMINIST

<https://elemminist.com/article/2205>

Guide to Iceland

<https://guidetoiceland.is/ja>

The Tokyo Toilet

<https://tokyotoilet.jp/>



# 継ぐ

## ～ボックスが創る、2030のカタチ～



浜松市に多く存在し、年々増え続ける集校。少子高齢化やコロナ禍により徐々に衰退していく伝統文化。南海トラフ巨大地震により予想される甚大な被害。

SDGsが達成された2030においても南海トラフ巨大地震や伝統文化の衰退に対応するには、地域コミュニティによって、個人ではなく地域住民全員で立ち向かわなければならない。個人と個人を継ぎ、地域集団を創る。継ぐのは人間と人間だけではない。

空間と空間を「継ぐ」  
伝統文化を「継ぐ」  
人の命を「継ぐ」

「継ぐことで、地域コミュニティを未来へ繋げていく提案」

### A 海浜成 旧通州浜小学校

敷地説明  
・特徴  
海に面して海風が吹く。  
・文化  
風と利用して釣うたこ場と屋台を並べた屋台並みがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図① 洋風最大用途  
○ 旧通州浜小学校  
○ 指定の避難所  
通州浜小学校周辺は、全端で洋風が感じられ、高級感のある通州浜小学校は洋風が特徴的である。

### B 山田成 旧鶴山北小学校

敷地説明  
・特徴  
山が近く自然風景が  
・文化  
笛や太鼓に合わせて踊るお祭りがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図② 工石瓦葺き区画  
● 急傾斜地の崩壊 警戒区域  
● 急傾斜地の崩壊 特別警戒区域  
● 崖すべり 警戒区域  
● 土砂災害警戒区域 高台の小学校は避難所が重要である。

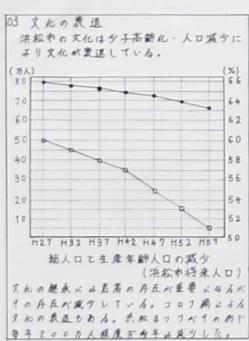
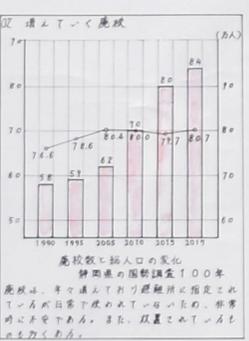
敷地説明  
・特徴  
海に面して海風が吹く。  
・文化  
風と利用して釣うたこ場と屋台を並べた屋台並みがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図③ 洋風最大用途  
○ 旧通州浜小学校  
○ 指定の避難所  
通州浜小学校周辺は、全端で洋風が感じられ、高級感のある通州浜小学校は洋風が特徴的である。

### 01 浜松市の豊かな自然と南海トラフ

浜松市は自然豊かな自然と南海トラフ。浜松市は自然豊かな自然と南海トラフ。浜松市は自然豊かな自然と南海トラフ。



### 05 継ぐ地区センター

継ぐ地区センター。継ぐ地区センター。継ぐ地区センター。

### 07 ボックスの重なり

ボックスの重なり。ボックスの重なり。ボックスの重なり。

### C 湖島成 旧北庄内小学校

敷地説明  
・特徴  
湖に面して湖風が吹く。  
・文化  
湖と利用して釣うたこ場と屋台を並べた屋台並みがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図④ 洋風最大用途  
○ 旧北庄内小学校  
○ 指定の避難所  
北庄内小学校周辺は、全端で洋風が感じられ、高級感のある北庄内小学校は洋風が特徴的である。

### D 湖島成 旧北庄内小学校

敷地説明  
・特徴  
湖に面して湖風が吹く。  
・文化  
湖と利用して釣うたこ場と屋台を並べた屋台並みがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図⑤ 洋風最大用途  
○ 旧北庄内小学校  
○ 指定の避難所  
北庄内小学校周辺は、全端で洋風が感じられ、高級感のある北庄内小学校は洋風が特徴的である。

敷地説明  
・特徴  
湖に面して湖風が吹く。  
・文化  
湖と利用して釣うたこ場と屋台を並べた屋台並みがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図⑥ 洋風最大用途  
○ 旧北庄内小学校  
○ 指定の避難所  
北庄内小学校周辺は、全端で洋風が感じられ、高級感のある北庄内小学校は洋風が特徴的である。

別表編のボックスと表紙に併せて、別表編と表紙と表紙。

### 06 継ぐカタチ

継ぐカタチ。継ぐカタチ。継ぐカタチ。

### E 湖島成 旧北庄内小学校

敷地説明  
・特徴  
湖に面して湖風が吹く。  
・文化  
湖と利用して釣うたこ場と屋台を並べた屋台並みがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図⑦ 洋風最大用途  
○ 旧北庄内小学校  
○ 指定の避難所  
北庄内小学校周辺は、全端で洋風が感じられ、高級感のある北庄内小学校は洋風が特徴的である。

敷地説明  
・特徴  
湖に面して湖風が吹く。  
・文化  
湖と利用して釣うたこ場と屋台を並べた屋台並みがある。

凡例  
1 普通教室  
2 特別教室  
3 職員室  
4 校長室  
5 事務室  
6 図書室  
7 音楽室  
8 体育館  
9 多目的室  
10 廊下  
11 玄関  
12 階段  
13 トイレ  
14 倉庫  
15 駐車場  
16 遊歩道  
17 公園  
18 緑地  
19 土留  
20 土留  
21 土留  
22 土留  
23 土留  
24 土留  
25 土留  
26 土留  
27 土留  
28 土留  
29 土留  
30 土留  
31 土留  
32 土留  
33 土留  
34 土留  
35 土留  
36 土留  
37 土留  
38 土留  
39 土留  
40 土留  
41 土留  
42 土留  
43 土留  
44 土留  
45 土留  
46 土留  
47 土留  
48 土留  
49 土留  
50 土留

図⑧ 洋風最大用途  
○ 旧北庄内小学校  
○ 指定の避難所  
北庄内小学校周辺は、全端で洋風が感じられ、高級感のある北庄内小学校は洋風が特徴的である。